

【電線類が地中化されたランドスケープデザインの街並み紹介】

No.5 水路のあるランドスケープデザイン 埼玉県:越谷レイクタウン

■事業展開:平成21年頃、環境省「街区まるごとCO2 20%削減事業」認定PJで、戸建街区と集合住宅街区合わせて「環境共生先導都市」の形成を目指したモデル街区。

■街並計画:ランドスケープデザイン事務所起用による人と自然が共生する「環境共生型」の街づくりで、「パッシブデザイン」が随所に生かされた街並み。

■環境共生型街づくり:冬の防風対策として街区北西側には7~8m高垣のシラカシの植栽や、夏の暑さ対策として水路の冷気を生かした通風の取り組みなど、パッシブデザインとしての工夫や完成度は高い。外構や植栽にも一貫したストーリーが見られる。

■水路を取り込んだランドスケープデザイン:北米西海岸の住宅開発地を彷彿するような美しいランドスケープデザイン。水路は洪水調整機能をもたせたものであるが、景観に映えるこのような水路づくりは全国的にもきわめて数少ないと思われる。街づくりの象徴的空間としての整備であり、レイクタウンとして優れた景観を創造するためランドデザインの段階から計画的に取り組みされた。

◆水路のあるランドスケープデザイン

文貴:高山 登

- 水路のある街づくりとして計画的に開発された。
- 電線類が地下埋設され、湾曲した水路にスカイラインの美しい街並みが映える
- 歳月を経るごとにその魅力が増して、資産価値としても高い評価が期待される
- 水路は洪水調整機能があり、河川管理者が管理



◆四季感あふれる美しい街並み



- 夏季の日照遮蔽、冬季の日照確保により、各邸の開口部に配慮した高木の落葉樹が四季感に彩りを添える
- 屋根材は質感のあるアースカラーの陶製瓦。常緑と紅葉した植栽との色調の調和が見事でシックなボンエルフ道路に映える街並み
- 電線類の地下埋設に伴うトランスは、沿道景観に配慮してゴミ置き場と合わせて植栽で囲われ、見えない

日本の電柱・電線社会の現状について感じていることをエッセイとして綴り、お送り下さい。本会報の【随想】欄に掲載させていただきます 1000~1500文字、簡単な自己紹介(お仕事、住所等)とポートレイト(顔写真)を添えて下さい。投稿をお待ちしています! 事務局 井上、山岡 info@nponpc.net

私達が住む日本の空を、みんなで美しい空へ!

美空 ~MISORA~

第60号



発行日:2013年8月25日(日)

発行者:NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田 昇

【活動報告】2013年7月26日理事会(COM計画研究所)

◆技術開発委員会:井上(了)理事

大阪府が計画する船場付近の近代建造物群周囲の美装化にあたって、2ヶ月前に無電柱化の相談を受けた。先行して芝川ビルと伏見ビルを検討する。予算取りと現状把握をする為に現況の電線図面をNTTに要求するも、否定的な態度であった。

7/8(月)にイトーヨーギョーが主催するライン導水ブロック工業会の総会に参加された高松市の大豊産業さんから無電柱化のメニューを紹介してほしいと依頼を受けた。NPOの活動にも興味を示しているの、まずは入会を進める。

◆世論形成委員会:木村副理事長

(仮称)電線類地中化推進連絡協議会の趣意書はおおた完成したが、内容がNPOの活動と被っている部分があるので、改良していく必要がある。完成した趣意書は、DMで送ったり、過去にセミナーに参加していただいた方々や各理事と繋がりがある方々に送ることで、リアクションがあるかどうかを見る。

◆事業協力委員会:井上事務局長

福知山市の広小路通りの電線類地中化について、検討委員会を行った。地元住民は前向きな姿勢で、市の予算の関係もあるので、近々設計に入っていく。

会員企業の全農林さんからの電線類地中化の案件(岐阜市内)で、現在は設計を終え、工事を進める段階まで進んでいる。他にも愛知県のあま市、日進市でも地中化を実施していきたいということで設計を依頼されている。ジオリズムが下請けする。

◆東京活動委員会:井上事務局長

7月度の東京活動委員会では前川会員に海外(ロンドン・コペンハーゲン・ベルリン)の景観事例を話題提供として紹介していただいた。写真等の詳細資料はドロップボックスに保存しているので、興味がある方は一声かけていただければお見せいたします。

電線類地中化を実現した街のデータベースを作成していく。それらに詳しい会員の方がいるが、関東方面の事例が中心なので、是非とも関西でも実施していきたい。

会員の方からの提案で、明海大学の斉藤弘子先生に講師を依頼して東京でシンポジウムを開催してみても?という案が上っている。

◆その他:

新たに世論形成委員会に中村理事が加入。

◆次回の理事会の日程

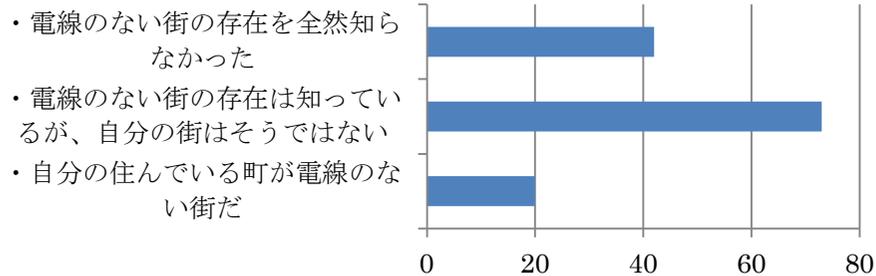
9月04日(水)18時からCOM計画研究所にて開催。以上



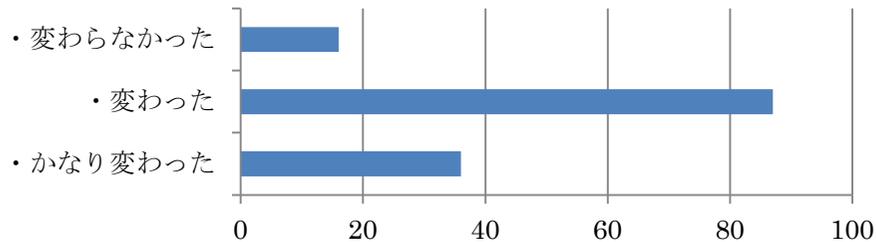
【報告】電線のない京都の街並み写真展

2013年8月7日～20日の期間中、京都市下京図書館4Fロビーにて、京都市内の電線のある街、ない街の写真を計20点展示させていただきました。そこで来場していただいた方々に電線、電柱を景観という観点から意識していただいた上で写真をご覧いただき、2種類のアンケート調査を行いました。約140票の回答が得られましたので、以下アンケート結果をご紹介します。

電線のない街の存在について知っていましたか？



写真を見て、電柱・電線に対する見方・考え方が変わりましたか？



また、アンケートに回答していただいた方々には展示写真の中から電線類地中化の素晴らしさが最も感じられる写真を選んでいただき、票数が多かった地区の展示写真とその地区の電線類地中化概要をそれぞれご紹介いたします。

「美空」に載せてほしい事、調べてほしい事などがありましたら info@nponpc.net までお送り下さい！皆様のご意見、お待ちしております！ tel:072-653-5811 Fax: 072-653-5833

電線地中化に関するコラム・情報を月2回メールマガジンで配信しています！ぜひこちらも登録下さい！ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>

1位:産寧坂

(事業年度):平成18年度～平成22年度
(事業費):約6億円
(事業延長):630メートル
(事業内容):電線共同溝新設工事、照明灯の設置、道路の舗装復旧(石畳舗装)

2位:上七軒通(翔鸞緯7号線)

(事業年度):平成20年度～平成25年度
(事業費):約3億円
(事業延長):357メートル
上七軒通(翔鸞緯7号線)
(事業内容):電線共同溝新設工事、石畳風アスファルトによる舗装の美装化工事、LEDデザイン道路照明灯設置工事、石碑及び観光案内標識設置工事

3位:上賀茂伝建地区

(事業年度):平成18年度～平成21年度
(事業費):約3億円
(事業延長):380メートル
(事業内容):電線共同溝新設工事、道路の舗装復旧(路肩カラー舗装) 電線管理者の電柱・電線類の撤去復旧作業が平成23年10月に完成。
※京都市実施主体の電線共同溝新設工事は平成21年度に完成済。

まとめ

身近な電線・電柱が街並みの景観を乱しているなんて思ったことも無い、という声が多数挙がる一方で、日本の地方風土の景観は道でなく、建物の様式といった街並み自体が主人公であるような景観こそが美しいと思うので、電柱がなくなったところで…という意見もありました。その為には電線類地中化したあとの道路をどのようにデザインするかという問題も併行して検討し、街づくりのコンセプトも明確化することが大切だと思いました。



ホームページでも、最新情報を詳しく掲載していきます。<http://nponpc.net/>
フェイスブックはこちら:<http://www.facebook.com/NPONPC>